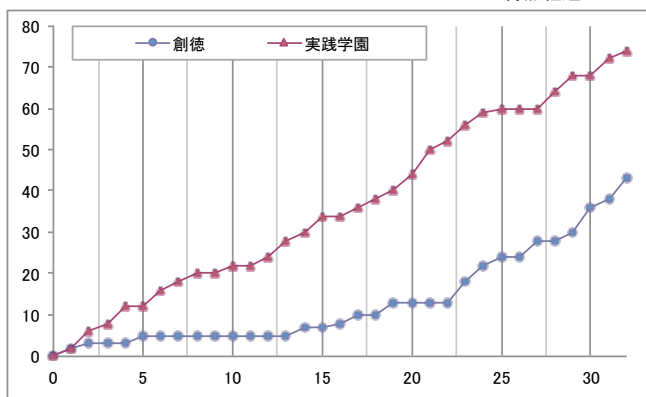




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会						
会場	トリムパークかなづ						
日時	2016年8月24日(水) 11:20						
コート	Bコート 第2試合						
カテゴリー	男 決勝トーナメント1回戦						
主審	関口 久視						
副審	比嘉 涼太						
TEAM A	TEAM B						
創徳 (三重)	<table border="0"> <tr> <td>5 1st 20</td> <td rowspan="4">74</td> <td rowspan="4">実践学園 (東京)</td> </tr> <tr> <td>3 2nd 14</td> </tr> <tr> <td>14 3rd 25</td> </tr> <tr> <td>21 4th 15</td> </tr> </table>	5 1st 20	74	実践学園 (東京)	3 2nd 14	14 3rd 25	21 4th 15
5 1st 20	74	実践学園 (東京)					
3 2nd 14							
14 3rd 25							
21 4th 15							

得点経過



BOXスコア

TEAM A		創徳						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	中川 貴晶 (CAP)	×	19	5	2	0	0	
5	日下部 洸希	×	6	1	1	1	3	
6	武田 ビトル	×	4	0	2	0	1	
7	相羽 紘暉	×	6	0	2	2	2	
8	市川 右	×	8	0	4	0	2	
9	山本 拓実	DNP	0	0	0	0	0	
10	伊東 海斗	DNP	0	0	0	0	0	
11	益川 智哉	DNP	0	0	0	0	0	
12	林 一真	DNP	0	0	0	0	0	
13	馬場 俊介	DNP	0	0	0	0	0	
14	村上 風汰	DNP	0	0	0	0	0	
15	高橋 蓮	DNP	0	0	0	0	0	
16	猪原 誠史	DNP	0	0	0	0	0	
17	辻 大貴	DNP	0	0	0	0	0	
18	今野 凌	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	田中 康夫							
合計			43	6	11	3	8	

TEAM B		実践学園						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	五島 大成 (CAP)	×	10	0	4	2	2	
5	海貝 太一	×	4	0	2	0	2	
6	小宮山 駿帆	×	6	0	3	0	2	
7	江原 信太郎	×	26	0	12	2	0	
8	渡部 一輝	×	8	0	4	0	0	
9	島元 奏多	/	2	0	1	0	0	
10	野田 駿介	/	0	0	0	0	0	
11	足立 雅憲	/	0	0	0	0	0	
12	山口 流聖	/	2	0	1	0	0	
13	本間 合	/	2	0	1	0	0	
14	小森 颯太	/	4	0	2	0	1	
15	保高 優平	/	0	0	0	0	0	
16	露木 真弥	/	4	0	2	0	0	
17	櫻井 椋介	/	0	0	0	0	0	
18	齊藤 翔吾	/	6	0	2	2	1	
コーチ	森 圭司							
合計			74	0	34	6	8	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

予選リーグD2位東海代表創徳と予選リーグE1位関東代表実践学園との一戦。両チーム、ハーフコートマンツーマンDefでスタート。開始早々、実践学園#8、#5の1対1で連続得点。創徳は#4のジャンプシュートや#5のフリースローの得点で対抗する。しかし、実践学園は#7の高さを生かしたインサイドプレーでじわじわと点差を広げていく。残り4分2秒、3-12と実践学園がリードしたところで、創徳1回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後も実践学園#7のインサイドを止められず、創徳5-20実践学園で、1Qが終了。2Q、実践学園は1Q同様#7を中心に攻める。創徳は#7、#5が1対1をしかけて粘るが、実践学園の堅いDefと高さで得点できない。残り4分44秒、創徳5-24実践学園となったところで創徳が2回目のタイムアウトを取る。その後、実践学園#7にダブルチームをしかけボールを奪いにかかる。そして創徳#7のドライブなどで3得点し、諦めを見せない。しかし、実践学園は得点を重ねていき、8-34と実践学園リードのまま2Q終了。

3Q開始早々、創徳#6のミドルシュートで後半の先制点を奪う。その後、Defでも実践学園からOffチャージングを取る。さらに、#4がボールをスティールし、流れに乗ろうとする。また、#5、#4の3Pなどで実践学園を追い続ける。残り3分41秒、創徳13-44実践学園となったところで創徳は後半1回目のタイムアウトを要求。メンバー変更をした実践学園の勢いは止まらず、創徳22-59実践学園で3Q終了。最終4Q、創徳は#7の1対1、#4の3Pで食い下がる。実践学園は#18の高さを生かしたリバウンド、#16の1対1で得点を重ねる。創徳は#4がこのQに4本の3Pを決め、最後まで粘り続けたが、終始安定した試合運びを見せた実践学園が43-74で勝利した。